

## カムデンと日本の教育制度の違いについて

富永 渚月（高校1年）

私は日本と外国の教育制度の違い（部活など）について気になったので、現地の人に話を聞いたりしてどんな違いがあるのか調べてみました。

### （1）部活について

カムデンでは部活は学校によって大きな差があり、特に公立の高校にはほとんど部活動というものはありません。しかし、私立の中には厳しい練習を行っている学校もあるようです。

#### ・部活に対する意見

日本の部活は忙しすぎると思うので、もう少し自分の時間を持たせてあげても良いと思う。

（マウントアナンハイスクールの先生）

運動の機会を設けるために部活を今よりは活発にするべきだ。（市庁舎の方）

### （2）授業について

小学校の授業では、1年生の文字を書く授業を中庭で行ったり、体を動かす授業があったりしました。また学校が全体的にカラフルでかわいかったです。

高校の授業では自分の教室がないため、席は決まっておらず、毎回自由席です。また、恥ずかしがらずに意見する子が多く質問はその場で解決していました。

### （3）学年の分け方と大学について

オーストラリアでは5～12歳が小学生、12～18歳が高校生です。また15歳からは高校に残るか、大学に行くかが選択でき将来の夢が確実に決まっている人は大学に行くことが多いそうです。また大学は就職のために良い大学に行くということではなく、自分の夢のためにその職業について学べる大学に行くのが一般的だそうです。

これらのことから、カムデンの学校は自由なところが多く、子どもの創造性や個性、自主性を大切にでき、また、大学もなんとなくではなくちゃんとした意思を持って入ることで、自分は何をしたいかなどの個人を確立し、個性をちゃんと持てる人が多いのだなと思いました。先輩後輩もあまりなく、多くの人が卒を超えてたくさんの人とつながりを持っていて、素晴らしいことだなと思いました。

